

- ホーム
<サイト内検索>
松が丘自治会
松が丘の街
お知らせ
1.自治会連絡事項
2.自治会実施報告
3.サークル活動
4.その他
行事案内と重要連絡
施設予約状況
役員ブログ
保存版資料
よくある質問
お問い合わせ
関連団体
サークル
リンク集
ログカウンタ

夏の風物詩 ゲンジホタル観賞ウォーク

7月3日（金）梅雨の夜空、天気予報とにらめっここの所沢駅、自然の河原にゲンジホタルが翔んでいるとの情報。『気楽に歩こう会』に集まった皆さんは、なんと43名。現地のお天気を祈る気持ちで、飯能名栗川に向かった。



<43名参加 『さわらびの湯』の前で記念撮影>

飯能駅からは、チャーターした貸し切りバスでの往復。
名栗湖では、霧が山の稜線を墨絵のように創りだし、幻想的な世界へと導いてくれた。



<名栗湖ダムでの記念撮影>



<名栗湖>

雨が降る中、『さわらびの湯』で、汗を流し一休み。皆さん揃っての夕食は、アユの天麩羅などの和食弁当にイワナやアユの塩焼きで一杯。ホタルについての事前勉強と参加者の自己紹介。



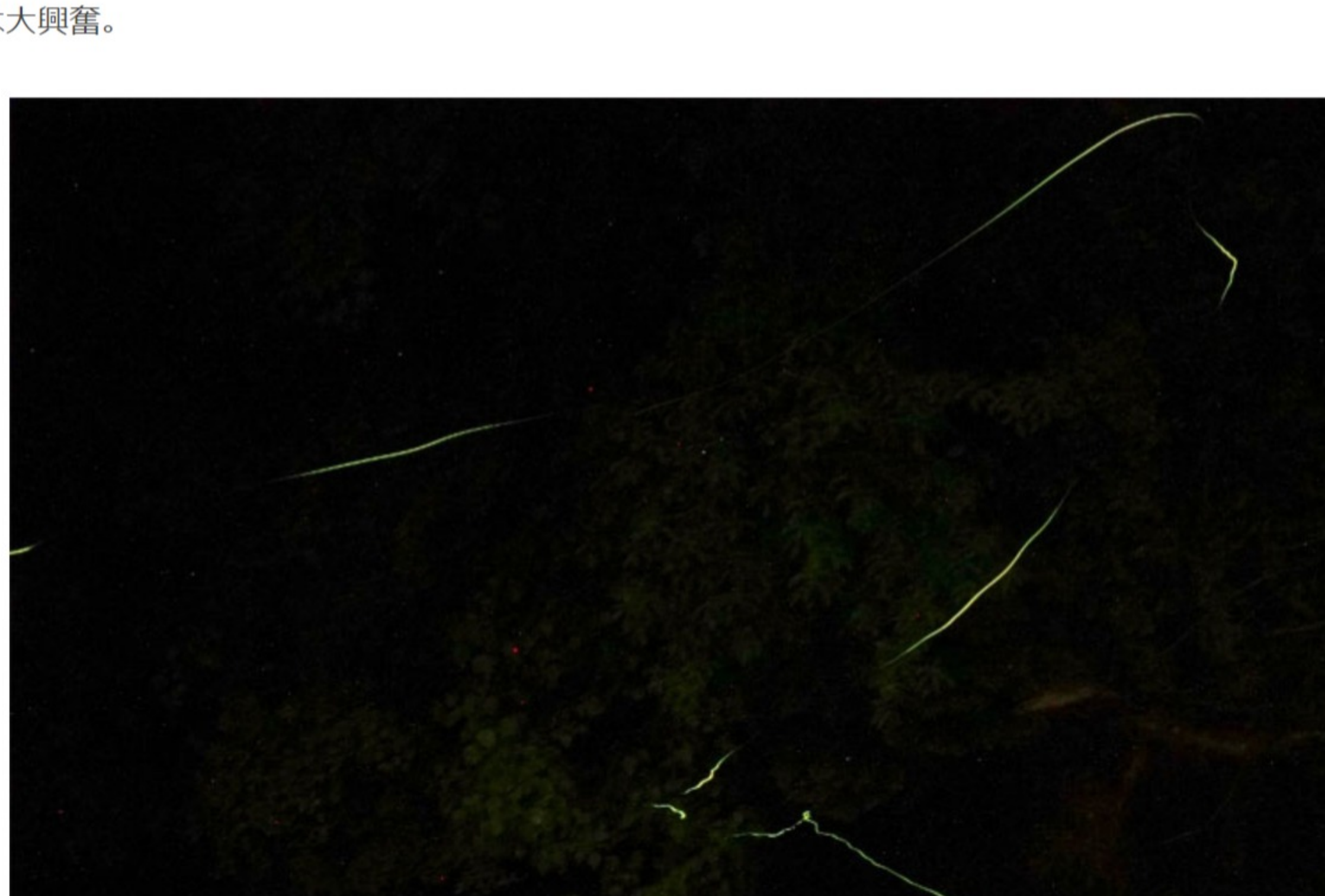
<『さわらびの湯』で、汗を流し一休み>



<イワナの丸かじり 美味しい！>

暗くなる頃、外は霧雨。ホタル観賞条件がそろう中、河原広場に向かった。

時刻は20時少し前、河原の草むらや対岸の木々にホタルの光を発見し、ホタルだーっ！の声。こうして自然界に生息するホタルを見ているといつの間にか雨も止んで、あたりは真つ暗。木々の小枝から飛びかうホタルが右に左に頭上にと数えきれない程のホタルが飛びかう。ホタルの光の波で、参加者は大興奮。



<木々の小枝から飛びかうホタル>



60年以上の昔、子供頃に箆(ほうき)でホタルを追いかけた思い出が飛び出す。時間の過ぎるのも忘れた一歩も、帰りの車中では、ホタル観賞で笑顔が一杯。

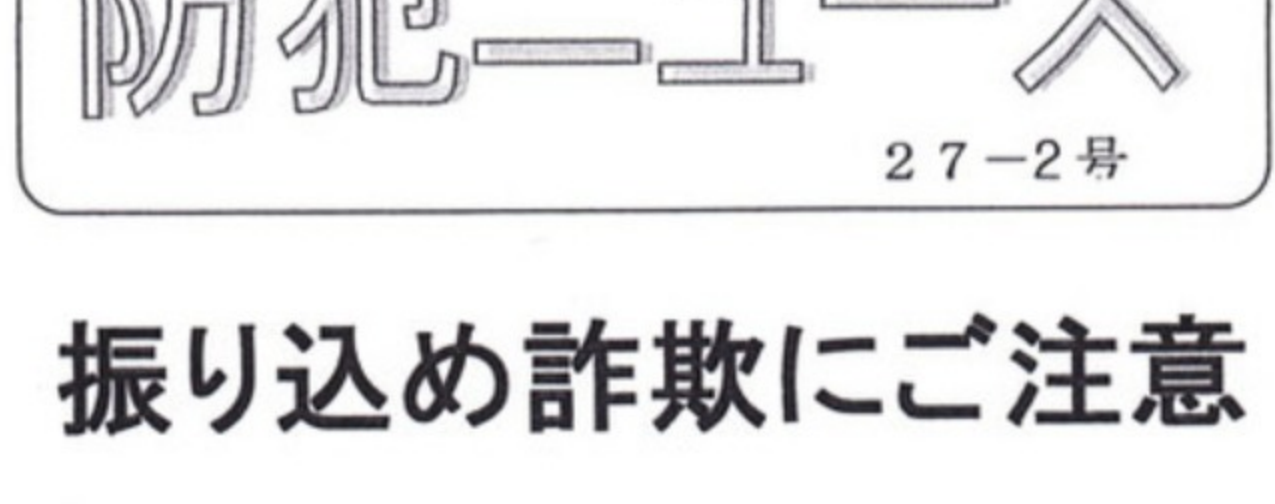
大自然の中で、ゲンジホタルを目の前にした皆さんは、自然環境の大切さを実感し、体験できた楽しいひと時で、本日のウォーキングを無事に締めくくった。

次回、8月25日(火)は、東京都御岳山のレングシヨウマの観賞会を計画しています。

本日も、皆様のご協力、本当にありがとうございました。

気楽に歩こう会 代表 藤原敏郎

[編集] [削除] [コメント]



平成27年7月1日
所沢松が丘自治会
防犯担当

振り込め詐欺にご注意！

最新振り込め詐欺手口！

毎日のように振り込め詐欺のニュースが伝わってきます。今までの振り込め詐欺は、孫等を騙って現金を振り込ませる手口が殆どでしたが、最近になって、警察官や銀行員・弁護士等を騙ってキャッシュカードや現金を騙し取るという手口が増えてきているようです。

こんな文言があったら要注意！

Table with 3 columns: 手口 (Method), 相手 (Target), 振り込ませる口実 (Reason for transfer). Rows include: オレオレ詐欺 (Impersonation), 還付金等詐欺 (Refund scam), 架空請求詐欺 (Fake bill scam), 融資保証金詐欺 (Loan guarantee scam).

詐欺被害者の心理分析を行ったところ、被害者の方達は
1、「自分は絶対に大丈夫！」だという「大丈夫幻想」を持つ
2、「市役所などの公共機関名」を出されるとあまり疑わない
ことが分かったそうです。

防犯担当理事
相宅信夫 猪狩利一

防犯担当理事 相宅信夫、猪狩利一

[編集] [削除] [コメント]

7月3日（金）雨音が聞こえるほどの強い雨が時おり降る中、7月の集団資源回収が行われました。

回収した重量は、13.01トンでした。この雨のために出すのを止めた方が多かったようです。



<雨に濡れた本・雑誌・新聞紙・雑がみ・ダンボール 雨よけのビニール掛けは不要です>

雨の日の場合、サービスのトイレトロールは、雨に濡れないように小さいビニールの袋に入れたり、屋根のあるところに置きますが、ポストの中に入れるビニール袋の方を希望していただければありがたいです。

27年度1期（4月、5月、6月、7月）の総重量は、67.93トンでした。報酬金は、339,650円です。

みなさまのご協力に感謝いたします。

環境美化担当 松本隆義 白井八重子

[編集] [削除] [コメント]

6月21日（日）2時45分頃 水天宮下バス停（上り）付近で大型バイクの横転事故が発生し、1名が亡くなったようです。



<大型バイクの事故現場>



5月12日（火）にも水天宮下バス停（下り）付近で自損事故があったばかりです。

環境担当理事 松本

[編集] [削除] [コメント]

6月20日（土）中央会館で行われたAED講習会に参加してきました。初めての経験でしたが、3時間コースがあったという間でした。講習会は正式には「普通救命講習I」と呼ばれるもので、AEDの使用法の他に、一般的な救命処置法も学びます。疑問を感じた都度、質問をしてより知識を深めることができました。

結論から言うと、一度は参加しておくべき講習会でした。



<最初に、普通救命講習Iの講義がありました 受講者は22名>

最後は全員が自分なりに救命法やAEDの使用を実行してみても講師の方から評論をもらうことで講習会を終えましたが、なかなかうまくできない方もおられました。実際に経験してみることの重要性を実感しました。AEDの使い方もさることながら胸骨圧迫（心臓マッサージ）の重要性も理解できました。



<心臓マッサージの実演練習 二人の子供も参加>

心臓に異常を来したと思われる「患者」を発見した場合、まず「患者」の肩を軽くたたきながら反応を確認し、反応が無ければ、①大声で周りに声をかけ、119番通報とAED手配をお願いする（指差しをして誰にお願いしているかを特定することが重要）。

②10秒以内に「患者」が呼吸しているかどうか確認する（「患者」の鼻に自分の目を近づけて「患者」の胸部や腹部を観察すること、呼吸の確認に10秒以上かけないことが重要）。

③呼吸していない場合、胸骨圧迫（心臓マッサージ）30回、人工呼吸2回のセットをAEDが届く救急車が来るまで繰り返す「患者」の胸が5cmくらい沈み込むように、ペースは100回/分）。

④AEDが届いたら直ちに「患者」にセットします。セット方法はAEDの手順に書いてあります。あとはAEDが自動で電気ショックが必要か否かを解析して声で教えてくれるので「患者」の指示に従って処置します（可能な限りAEDを装着している間も胸骨圧迫は続ける）。

⑤AEDが「患者」に電気ショックを与えた後は、③の手順で胸骨圧迫を続ける（AEDは2分毎に解析して電気ショックの要・不要を知らせてくれるのでAEDの指示に従う）。

（注）中央会館に設置しているAEDはフクダ電子のHS1です。

AEDの使用法

所沢松が丘自治会 松山 正文

[編集] [削除] [コメント]